

2016年3月19日

第203号 発行 嶋田住建

もっと住まいを快適に

住まいの通信

リフオーム塾
シリーズ

三月中旬でも寒い日が続いているですが、まもなく暖かい春ですね。春になると気候や湿度が安定して、塗替えに最適な季節になります。今回も恒例の塗替えのお話です。

なぜ塗替えをするの?

建物は、雨や風、太陽による紫外線、排気ガスなどにさらされているため、じわじわと劣化が進みます。日本の住宅の耐用年数が三十年といわれていますが、塗料の寿命は十年前後で、建物の一生の間に二~三回の塗替えが必要となります。

定期的なメンテナンスが建物の寿命を延ばす「ツ」です。塗装の目的はズバリ、素材を保護して建物の寿命を伸ばし、そして美観のアップです。雨漏り防止ではありません。

塗替えのサイクルは?

オヤジの場合は十年から十五年のサイクルで塗替えをして下さいとお話をしています。



一回目の塗替えは、新築時に使われた外壁材により違いますが、概ね十年前後でOKです。但し素材により多少の剥離が出る事がありますが、その場合は補修でいいと考えます。

価格と質のバランスは?

価格が高ければそれに応じて品質が良いかというとそうではありません。新しく開発された材料(いわゆる新商品)というのは開発費がかかります。

例えばフッ素樹脂塗料は確かに耐久性等の機能は一番すぐれていますが、ウレタンやシリコン塗料に比べて価格が四~五倍もします。耐用年数が二十年と書かれていますが、十年以下で汚れるのは避けられません。

このようにフッ素などの高額で性能の良い塗料は定期的な塗り替えが困難な高層ビルのような場合を除いて、「品質に比べて価格が高い」と考えていました。当店でセラミックシリコン塗料をお勧めするのは「の理由からです。

現在新商品をオヤジが精査中です。

魅力的な商品が出ているので、近いうちに材料を替えるかもしれません。

塗替えのメリットは?

●耐候性 劣化・汚れの原因となる風雨や紫外線などの自然条件から壁や屋根を保護します。

●低汚染性

「ミミやカビ」、ホコリが付着しにくく、外壁や屋根をきれいに保ちます。

●透湿性

湿気は建築部材の大敵です。外から雨水を通さず内部から湿気を放出する機能です。

●弹性

ヒビ割れを放置しておくと、外壁の剥げ落ちや漏水の原因になります。弾性塗膜には、下地のヒビ割れを表面で、ある程度食い止める柔軟性があります。

●美観の向上

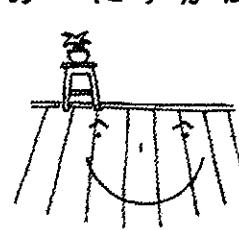
なんと言つてもこれが一番です。まさに新築気分。皆様の財産です。大事にしましょう。

三月なのに寒いです

オヤジ日記

あと数週間で桜が咲く季節になりますが、雨が多く寒い日が続きますね。オヤジは天気のいい日は花粉でくしゃみや鼻水が止まらず、寒い日はゾクゾクして風邪だからなんか分からなくなっています。皆様はお元気に

お過ごですか?



おかげさまで地元で31年

わくわくリフォームショップ

(株)住まい工房 嶋田住建

建設業許可 千葉県知事登録(般-27)第50159号
特定非営利活動法人 住まいの構造改革推進協会正会員2-0305号

東金市油井188-61(ニュータウン丘の街内)

0120-910-720

TEL:0475-52-4037

営業時間:8:00~22:00



メールお待ちしております

yuyuoyaji@docomo.ne.jp

ホームページも見てください

http://shimadajuken.web.fc2.com/

